



# 市大病院情報誌



## そよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています



### Contents

- ▷ 微生物検査室は院内感染対策の要
- ▷ 知っておきたい『海外感染症の基礎知識』
- ▷ ロボット支援前立腺全摘除術
- ▷ 白斑外来
- ▷ マーブルフェスタ2015が開催されました
- ▷ Osaka Liver Festa ~なめたら あ・肝臓! ~を開催しました
- ▷ 認定看護師の活動について



2015年9月  
第25号

診療科紹介

形成外科  
麻酔科  
ペインクリニック

## 微生物検査室は院内感染対策の要



▲微生物検査室スタッフ

最近、TV等で話題になっている韓国でのMERSやアフリカの一部地域で流行しているエボラ出血熱等の新興感染症や、抗菌薬の進歩に伴い出現した薬剤耐性菌など、21世紀の現代でも人類にとっての最大の脅威は感染症と言えるでしょう。

中央臨床検査部微生物検査室では感染症疑いの患者さんの喀痰や尿、便、血液などから、原因となる病原菌を見つけ出し、薬剤の効き具合を調べる検査（薬剤感受性検査という）を行い適切な治療に貢献しています。また、院内感染対策では耐性菌（薬の効果が低い菌）やアウトブレイク（感染拡大）の監視など微生物検査を実施し、感染制御部と密に連携して院内感染対策の「要」となる検査を行い、病院の見張り番として重要な役割を担っています。

本年4月より「感染制御部」に専従の臨床検査技師を派遣し、よりスピーディーに、よりきめ細かく、緊密な連携をとれる体制を構築して患者さんの安心安全に寄与すべく努力しています。これからも、患者さんから信頼される検査を提供できるよう、スタッフ一同努力してまいります。今後とも微生物検査室の活動にご期待ください。（文責 中央臨床検査部 保健副主幹 藤岡 一也）



▲微生物検査の例（細菌を培養しているところ）

## 知っておきたい 『海外感染症の基礎知識』

夏休みに海外へ旅行に行かれた方も多いと思います。渡航する地域によっては特有の感染症があることをご存知でしょうか。最近、話題になっている感染症にエボラ出血熱、デング熱や中東呼吸器症候群（MERS:マーズ）などがあります。いずれの感染症も日本には存在しないウイルスが原因の病気です。流行国に旅行される時は、これら話題の感染症について知識を身につけ、細心の注意を払ってください。



### 蚊媒介感染症

デング熱、マラリア、チクングニア熱

**流行国** 熱帯・亜熱帯地域（東南アジア、中南米など）

**感染源** 熱ウイルスを保有する蚊

**予防** 屋外の蚊が多くいる場所を避け、虫よけ剤を使用。



### 中東呼吸器症候群

(MERS: マーズ)

**流行国** 中東地域（アラブ首長国連邦、イエメン、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、ヨルダン、レバノン）、韓国

**感染源** 感染者の飛沫（くしゃみ、咳）、ウイルスを保有するヒトコブラクダ（流行国のみ）

**予防** 感染者に2m以内に近づかない。マスクの着用と手洗いをする。



### エボラ出血熱

**流行国** 西アフリカ（ギニア、シエラレオネ）

**感染源** 主に感染者の体液、排泄物など

**予防** 患者に触れない。



※流行国については、外務省および厚生労働省が公表している情報を掲載しています（執筆時）

# ロボット支援前立腺全摘除術

## ● ロボット手術とは

遠隔操作型の内視鏡手術支援装置であるダヴィンチが外科医の行う腹腔鏡手術を技術的にサポートします。ダヴィンチ手術システムとしては、写真に示しますようにロボットアームおよび手術器具からなる本体と、コンソールと呼ばれる手術を行う外科医が内視鏡画面を見ながら操作を行う操縦席のような部位から成り立っています。



▲ コンソール

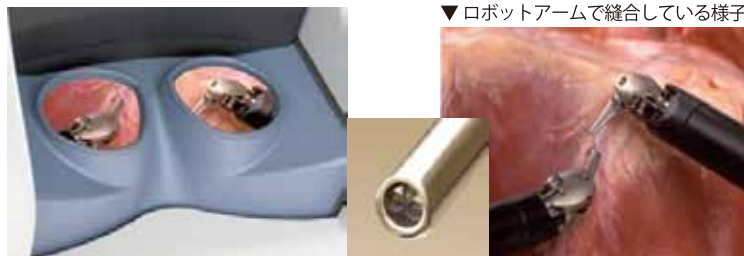
▲ 本体

▲ モニター

## ● ロボット手術の有用性

まず腹腔鏡下手術の利点としては、内視鏡による拡大された視野による正確な手術操作、出血量の低減、傷口が小さいため術後回復が早いなどが挙げられますが、ダヴィンチSiを使用したロボット手術では、(1)ハイビジョン3Dモニターにより、より精密な立体観察が可能(通常の腹腔鏡下手術は2Dによる観察のみ)になり、(2)コンソール内での術者の手首の動きを正確に手術器具に再現できることにより、従来の腹腔鏡下手術では困難な手術操作が可能になっています。したがって、前立腺癌の癌制御性の向上をはじめ術後の尿禁制や性功能(勃起能)の確保が期

待されます。すでに当科での臨床成績においても、ロボット支援前立腺全摘除術の他の術式(開腹前立腺全摘除術および腹腔鏡下前立腺全摘除術)より秀でた治療成績が確認されています。



▲ 3D モニター

▲ 内視鏡  
(直径 10mm)

## ● ロボット手術の実際

- 1 図のように臍周囲から下腹部にかけて合計6か所の0.5~2.0cm程度の皮膚切開を置き、ポートと呼ばれる筒状の器具を使用してロボット専用手術器具により手術を行います。
- 2 前立腺摘出と前立腺周囲の構造物の温存と再建を可能な限り行い、切離された膀胱と尿道をつなぎ合わせます。
- 3 手術後は、尿を膀胱から取り出す管(尿道バルーンカテーテル)を尿道から膀胱に留置した状態ですが、手術後1週間ほどで造影検査を行い、膀胱と尿道が漏れなく繋がっていることを確認できればカテーテルを抜きます。順調に回復できれば、入院期間は約10日~2週間となります。



皮膚の傷

(泌尿器科 田中 智章、仲谷 達也)

## 治療にかかる費用

ロボット支援前立腺全摘除術は保険適応であり、自己負担額が高額医療申請できる金額であれば上限以上は返金されます。最終的な自己負担額は年齢により変わってきますので、ご不明な点などありましたら、受診時にお問い合わせください。

## 白斑外来



皮膚にはメラニンを合成する細胞があり、色素細胞(メラノサイト)と呼ばれています。この細胞は合成したメラニンを回りの皮膚の細胞に受け渡すことで、皮膚に個人特有の色調を作り出しています。このメラニンが部分的に少なくなる状態を「白斑」といいます。色素が部分的に少なくなることは、心理的な不安を伴い生活の質(quality of life)を低下させます。白斑の原因としては、老化にともなって生じる「老人性白斑」、生まれつきのアザとして生じる「脱色素性母斑」、「結節性硬化症」のような遺伝性疾患に伴って生じたもの、自分のメラノサイトに自分の免疫反応がおこってしまう「尋常性白斑」、ロドデノールを含む化粧品による「ロドデノール誘発性脱色素斑」などがあります。ロドデノール以外の美白化粧品による白斑症例も散発しており症例を蓄積しているところです。白斑の最新の治療法として、ターゲット型ナローバンド紫外線照射療法があります(写真)。白斑の専門医師は、水曜日に初診受付をしております。



シリーズ 診療科紹介

麻酔科・ペインクリニック科



麻酔は、患者さんが手術を受ける間の痛みを取り除くだけでなく、全身の状態をできるだけ普段と変わらない良い状態に保つことです。麻酔科は局所麻酔の小手術を除く全ての手術の麻酔を担当し、手術中はずっと患者さんのそばでお守りします。また、手術後の痛みを和らげるためのさまざまな方法も行っています。不安なく、またベストの全身状態で麻酔と手術に臨んでいただけるよう、手術前の麻酔科外来診察で麻酔についての説明をさせていただきます。毎朝の事前カンファレンスを行い、手術室に常駐している多くの麻酔科スタッフが、安全・安心と迅速さをモットーに日々の診療を行っております。

麻酔科のもうひとつの大きな仕事がペインクリニック科部門での診療です。頭から足の先まで全身の場所にかかわらず、治りにくい痛みや、癌の痛みを楽にする治療を行います。外来は毎日、入院治療も可能です。最も効果のある薬の組み合わせを見つけ出したり、すぐに効果が期待できる神経ブロック療法も行います。最先端の医療も取り入れて幅広い手法で日々の診療に努力しております。

患者さんの1日でも早い日常生活への復帰の手助けとなることを目標にしています。



第9回 マーブルフェスタ 2015



「患者さんに夏祭りの雰囲気をお届けしたい！」ボランティアスタッフと教職員が力を合わせて実施する院内夏祭り「マーブルフェスタ」も、今年で9回目を迎え、7月24日(金)に病院5階講堂・講堂前廊下にて開催いたしました。約80名の患者さんやご家族にご来場いただき、総勢約170名の参加者となりました。開式時に、病院からボランティアスタッフのみなさまへ感謝を申しあげるため、活動時間が表彰対象になられたボランティアスタッフ12名のみなさまに感謝状の贈呈式を行いました。

その後、講堂ではいろいろなパフォーマンスに加え、今年は教職員によるギター弾き語り、市大学生によるアカペラ、落語などが披露され、新しい風が吹きました。講堂前廊下では、夏祭りの雰囲気を作る各ブースに加え、縫製&クラフトチーム「はりねずみ」の製作品展示会、ボランティアスタッフが作成し外来の中待合を飾ったクラフト作品の掲示など、例年に増して華やかな雰囲気になり、患者さんに癒しのひと時をお届けすることができました。



ボランティア活動に興味のある

ボランティアスタッフを

随時募集しています!

活動内容：外来案内、車椅子介助、縫製&クラフト活動、園芸、ワークショップ(参加型イベント)、演奏ボランティア、夏祭り(マーブルフェスタ)の開催など

問合せ先：患者支援課(ボランティアコーディネーター)

06-6645-2857



Osaka Liver Festa  
～なめたら あ・肝臓!～  
を開催しました。

「沈黙の臓器」肝臓の働きや病気についてあなたは知っていますか?

世界保健機関(WHO)は、2010年より毎年7月28日を世界肝炎デーと定め、ウイルス性肝炎(B型肝炎・C型肝炎)のまん延防止および患者・感染者への差別・偏見の解消、感染予防の推進を図ることを目的とした啓発活動を行っています。日本でも2012年7月28日を「第1回日本肝炎デー」と制定し、世界肝炎連盟が展開する世界肝炎デーの活動に参加しています。



今回、当院でもこの活動に参加し、2015年8月1日(土)にあべのハルカス21階MedCity21で「Osaka Liver Festa ～なめたら あ・肝臓!～」を開催しました。当日は37度を超える猛暑のなか、180名以上もの方に来場していただきました。

会場では、肝胆膵内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師、学生ボランティアなどによる、肝臓の働きや肝臓病についての解説や、C型肝炎の最新治療の紹介のほか、肝臓の硬さの測定や栄養指導、青竹を使った運動などを実際に体験していただきました。また、当日あべのハルカス25階で開催の市民公開講座に参加されていたオール巨人さん、石田純一さんも、公開講座終了後に当会場にかけつけてくださいました。加えて、あべのべあやあべのんの協力・参加もあり、始終和やかな雰囲気のイベントとなりました。



シリーズ 診療科紹介

形成外科

形成外科って何をする科？とよく聞かれます。定義としては「体表面を中心とする先天性・後天性の醜形・機能障害を、おもに外科的手段によって正常に近づけ、肉体的・精神的苦痛を取り除くことを目的とする科」ということとなります。要するに「手術によって生きる質を向上させる科」ということとなります。形成外科の治療対象には4つの柱があります。①外傷、②腫瘍、③先天異常、④美容です。①外傷は、新鮮な傷だけではなく既に傷が治った後の醜形や機能障害も治療対象となります。特に顔面の外傷は形成外科の独自分野です。②腫瘍は、良性腫瘍から悪性腫瘍を扱います。腫瘍をしっかり取って、きれいに治します。③先天異常は、顔面の異常から手指・足趾の異常、体幹の異常も整容的・機能的に改善させます。④美容は残念ながら当院では行っておりませんが、形成外科手術の手技はほとんどが美容手術の手技と同じです。対象疾患が異なるだけです。これ以外にも、当科は特に再建外科に力を入れています。他の科で悪性腫瘍を取った後の再建手術をチーム医療としてとりこんでおります。外傷や腫瘍切除後の欠損や醜形、リンパ浮腫などでお困りの場合も当科にご相談下さい。患者さんが「人間らしく・楽しく生きていく」ためのお手伝いをさせていただきます。



シリーズ 第1回

～認定看護師の活動について～

当院では、現在10分野17名の認定看護師がいますのでシリーズでご紹介します。今回は3分野の認定看護師の活動について紹介します。

1. 手術看護認定看護師

患者さんが安全に手術を受けて頂けるよう、医師、薬剤師、臨床工学技士と連携しながら患者さんをサポートしています。手術室内だけでなく、術前外来や術前・術後訪問という形で、手術室以外の場所でも患者さんと関わり、患者さんに寄り添った看護が行えるよう取り組んでいます。

手術看護認定看護師 足立 麻礼



2. がん放射線療法看護認定看護師

地下1階の放射線治療室で勤務しています。放射線治療を受ける患者さんやご家族様が、安全かつ安心して治療を受けることができるよう努力しています。放射線治療中だけでなく放射線治療後もお困りのことがあれば、ご連絡ください。

がん放射線療法看護認定看護師 山崎 仁美



3. 新生児集中ケア認定看護師

新生児集中治療室（NICU）において、早産児や疾患を持って生まれた新生児の集中ケアや発達を促すケア、家族ケアが円滑に行われるよう支援しています。「赤ちゃんに優しい看護」を常に心掛けてケアをしています。

新生児集中ケア認定看護師 岩崎 初美



患者さんへ質の高い看護を提供できるよう努力しています。今後ともよろしくお願い致します。

認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。  
※公益社団法人日本看護協会ホームページから引用 <http://ninte.nurse.or.jp/nursing/qualification/cn>



発行／大阪市立大学医学部附属病院

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 初診受付時間 午前9時～午前10時30分  
電話 (06)6645-2121 (代表) 休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日